



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

【桜が丘特別支援学校のESDのねらい】

- ◇他者を理解するとともに、相互に人格を認め合うことができる児童生徒を育む。
- ◇児童生徒が様々な人や異文化とのかかわりを通して経験や想いを分かち合い、夢をもって楽しみながら生きる姿をめざす。



本校でESDを捉える際、「つながり」をキーワードとして考え、日々の教育活動に取り組んでいます。「発信していくこと」、「伝えていくこと」を通して、本校の様子や児童生徒の学習の成果を地域や社会、世界の多くの方々に知っていただき、様々な物や人と「つながり」をもち、その「つながり」を大切に、多様性に満ちた社会で共に生き抜いていける力を育てていくことを願っています。

#### 【27年度の取り組みのまとめ】

本校で行われている学習はすべてがESDに関係する内容であると考えていますが、その中でも、今年度は、①各教科領域等（理科、食育）②交流学习 ③キャリア教育の取り組みに焦点をあてて、下の図のようにまとめました。



①各教科領域では理科と食育の様子を紹介します。

理科では、生物や植物についての学習のなかで、花粉管の伸長とウコの発生の様子をiPhone顕微鏡で撮影し、観察しました。この動画を日本の近隣の学校やアメリカの学校に送り、交流学习もしました。

食育では、千葉でとれる食材である、鯔や落花生について栄養教諭と一緒に学んだり、苗から野菜を育て、育った食材を使用して調理実習をしたりしました。苗から育てて食べるというつながりや、千産千消という地域とのつながりを学習しました。

②キャリア教育では、将来の生活や自立にむけて、できるようになるために取り組んでいることを紹介します。

「作業学習」では、製品づくりを通して、働くことや働くために必要なことを学んでいます。丁寧な製品づくりだけでなく、報告・連絡・相談など働く際に必要なコミュニケーションについても大切にしています。校外での販売会を行い、地域とのつながりも大切にしています。

また、寄宿舎では掃除や洗濯など自分のことは自分で行き、卒業後の自立した生活につながられるよう、目標をもって生活しています。

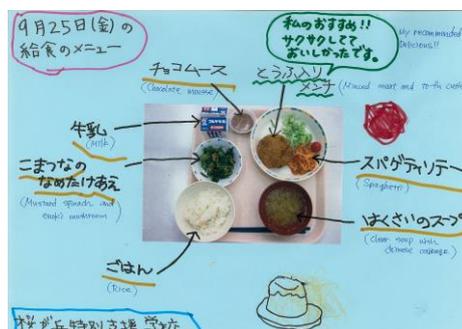
③交流学习では近隣校や居住地校との交流及び共同学習とアメリカとの交流学习について紹介します。

小学部、中学部、高等部それぞれが近隣校との交流学习を行っています。一緒にディベートをしたり、体育や音楽を一緒に行ったりしています。同年代の人との交流学习はとても刺激的な学習であり、小学生同士、中学生同士、高校生同士が繋がれる良い機会だと感じています。

また、今年度、「食」と「音楽」を通してアメリカとの交流学习をしています。「食」では、本校の自慢の給食を紹介したい！という生徒の声により、このようなもの→を作って交流校に紹介しました。

「音楽」では、日本の2つの学校とアメリカの1つの学校でWe are the worldを歌い、1つのムービーを作成するという学習をしています。現在、ア

メリカの学校が3つの学校の素材を集約して、ひとつのムービーを作っているところです。性別や国籍、障害の有無など多様性に富んだ世の中だけど、世界は一つなんだということを感じられるムービーが完成することと思います。完成が今から楽しみです。



このように桜が丘特別支援学校ではESDに力を入れて日々の授業が行われています。人とつながり、地域とつながり、社会とつながり、世界とつながり、、、そのつながりを大切に生きていけること。それが私たちの未来につながると考えています。また、それと同時に、私たちがユネスコスクールとして情報を発信する中心地となり、地域や他の特別支援学校、他の小中学校と連携し、「つながり」をもっていくことが大事だと思っています。障害をもった私たちから様々な情報を発信していくことが、皆が支え合いお互いに認め合いながら共生することのできる社会やよりよい未来を構築することにつながると考えます。障害がある人もない人も認め合い受け入れ合い共生することのできる社会を作っていくこと、これが、本校の目指す持続可能な発展のための教育の姿です。

